

議会だより

2023年 8 月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



6月定例会

令和5年第2回定例会は6月8日から開会され、町長から提案のあった補正予算など25議案をいずれも原案どおり可決し、12日に一般質問等を行って閉会しました。

補正 予算

補正予算の主なもの

◆地域再生可能エネルギー
導入計画策定業務委託
750万円

本町で使用可能な再生可能エネルギーを抽出し、転換していくため、専門家の意見を聴きながら計画策定を実施する

◆旧グループホーム利活用
実証事業 433万円

施設の整備や清掃、建築確認用途変更業務など、施設の利活用を検討するための実証事業を実施する経費

◆コンビニ交付サービス
事業費 1000万円

全国のコンビニエンスストア等において、町民がマイナンバーカードを利用し、住民票や印鑑証明を取得できるようにするためのシステムを導入する

◆電力・ガス・食料品等価格
高騰緊急支援給付金
1200万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、低所得者に対して、1世帯当たり3万円分の商品券を給付するもの

◆保育所運営費
269万円

こどもプラザに副館長を配置したことに伴う人件費等の諸経費

◆乳用牛振興対策事業補助金
233万円

牛の病気検査に係る費用の一部を補助するもの

◆クーポン券発行事業
補助金 1730万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策として、町内の店舗で使用できるクーポン券1人当たり5千円分を全町民に配布するもの

◆道路橋梁維持補修費
680万円

茂岩栄町団地通歩道改修工事、二宮第8号支線側溝補修工事に係る予算

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

会計名	補正額	総額
一般会計(第2号)	7,906万円	60億6,358万円
公共下水道特別会計(第1号)	180万円	2億5,683万円

「条例改正」

▼ 豊頃町介護保険条例の一部改正
所得の少ない第1号被保険者に対して行われている介護保険料の軽減措置を、令和5年度も延長して措置するための改正。

「人事案件」

▼ 豊頃町公平委員会委員の選任
現豊頃町公平委員会委員の熊野幸雄氏(茂右栄町)と大谷美勇子氏(茂右本町)を再度選任するもの。原案のとおり同意しました。

▼ 豊頃町農業委員会委員の任命
豊頃町農業委員会委員の任期満了に伴い委員を任命するもの。原案のとおり同意しました。なお、任命された委員は次のとおりです。(提案順)

- ・ 日下貴弘氏 (二宮)
- ・ 山崎仁志氏 (十弗)
- ・ 永原和也氏 (北栄)
- ・ 相澤博美氏 (農野牛)
- ・ 森川 聡氏 (二宮)
- ・ 井下睦男氏 (長節)
- ・ 熊野信夫氏 (牛首別)
- ・ 川口亜矢子氏 (北栄)
- ・ 山田雅江氏 (茂岩末広町)
- ・ 田頭綾子氏 (湧洞)
- ・ 間所明暁氏 (統内)

- ・ 加島富浩氏 (豊頃)
- ・ 相澤和幸氏 (幌岡)
- ・ 河崎正己氏 (農野牛)

「その他の議案」

▼ 繰越明許費繰越計算書の報告
令和4年度豊頃町一般会計予算及び令和4年度豊頃町公共下水道特別会計において、翌年度に繰り越した繰越明許費の繰越計算書について議会に報告。

※繰越明許費：歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用できる経費のこと。

▼ 工事請負契約の締結

○ 幌岡第3幹線改良工事(その1)
契約金額は6,490万円。工期は令和5年9月15日まで。
○ 建設機械格納庫新築工事
契約金額は1億6,610万円。工期は令和6年3月21日まで。

▼ 物品の取得

○ 津波救命艇 1艇
契約金額は1,551万円。納入期限は令和6年3月8日。
○ 歯科ユニット診療台 2台
契約金額は1,009万8千円。納入期限は令和5年10月31日。

主な審議内容

補正予算

○ 杉野議員 地域再生可能エネルギー導入計画策定において、二酸化炭素の数量はどのような形で算定されるのか。

○ 環境省で定める自治体カルテ一次産業の業種ごとの従事者数、(人口動態、経済活動状況、自動車の保有者数等)により定まっている単価から、各年度の動きを見ながら算出している。

○ 穴崎議員 地域再生可能エネルギー導入計画策定業務の内容は、ゼロカーボンに向けた国の目標値を目指すために、本町の自然的な条件や社会的な要因などから、本町で使える再生可能エネルギーを抽出し、町民も含めた町全体でエネルギー転換という方向へ持っていく計画の策定を実施する。

○ 小笠原議員 旧グループホームの活用について、今後どのような事業を計画しているか。

○ 研修や合宿、町内の青年交流、短期の移住体験、文化的事業での利用など、当面の間多様な分野での活用を進めていく予定である。

○ 小笠原議員 コンビニ交付サービスについて、住民票等の発行が全国のコンビニでできるようになるのか。またシステム導入に際し、交付手数料の変更はあるか。

○ マイナンバーカードの利用に
より、全国どのコンビニからでも住民票等の取得が可能となる予定であり、対象証明書は交付実績の多い住民票及び印鑑証明書としている。交付手数料については、当面値上げの検討予定はない。

○ 岩城議員 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金について、給付金の対象者は、物価高騰の負担が大きい低所得者(住民税非課税世帯)に給付する。

○ 藤田議員 部活動地域移行検討協議会の詳細は、

部活動については、生徒がスポーツ・文化活動を継続して取り組める環境整備や、教職員の長時間勤務解消のため、地域移行を段階的に執り進めることが求められていることから、豊頃町部活動地域移行検討協議会を立ち上げ、色々な方面からの意見をもとに将来的にどういった体制を整えていくかという点を検討していく。



今こそ給食費の無償化に
取り組んではいかがか



大谷友則 議員

Q 子育て家庭を助けるためにも、給食費の無償化に取り組むべきと考えるが、町長の見解は。

A 按田町長
物価高騰により就学児童生徒がいる子育て世帯にも大きな負担を強いていることは承知しているが、医療費無償化、入学祝金の支給、修学旅行費

一般質問

Q 大谷議員 部活動の地域移行によって指導者に費用弁償が発生すると思うが、その対応は。

A 費用弁償、謝金等の支払いや保護者への負担についても、検討協議会の検討課題としていきたい。

子育て支援について



杉野好行 議員

Q こどもプラザ等で保育などを行っているが、待機児童はいないのか。

A 按田町長
町の保育所の定員数は、茂岩保育所80名、大津保育所10名であり、6月1日現在の在籍数は茂岩保育所で60名、大津保育所4名で、待機児童はいないと認識している。

Q こどもプラザにおいて学童保育も行っていると承知しているが、必要としている家庭に学童保育

助成などの様々な支援策を実施している。

給食の食材も価格が高騰しており、今年度は約234万円程度町で負担する予定であることを踏まえ、保護者には一定程度の負担をいただきながら今後も給食を提供できると考えているが、保護者からの要望があれば前向きに検討していく。



Q 夕方の延長保育を望む声があるが、町長の考えは。また必要としている家庭の実態把握調査を行ったことはあるのか。

A 按田町長
茂岩保育所では7時30分〜18時まで保育時間を提供しており、保育所開所時間内であれば、延長保育である早朝保育や残児保育を無料で行われる形となっている。

茂岩保育所では、保護者等のニーズを把握するため毎年アンケート調査を実施しており、閉所時間に関する問い合わせがあることは承知しているが、保育士の勤務体系等の都合があり、午後6時以降の保育対応は難しいところである。

マイナ保険証について



岩井 明 議員

Q マイナバーカードの取得については、任意なのか、強制なのか。

A 按田町長
これまで通りマイナンバーカードは国民の申請に基づき交付されるため、取得は強制ではないが、今後の利用範囲拡大に向け取得を前向きに検討いただければ良いのではないかと考えている。

Q マイナ保険証がなくても受診に支障をきたさないようにすべきと考えるが町長の見解は。

A 按田町長
マイナ保険証を持たない方に対しては、役場から資格確認書が発行され、これを提示することで必要な保険診療が受けられることとなる。カードの有無に関わらず全ての被保険者が円滑に保険診療を受診できるよう進めていく。



小笠原玄記 議員

小・中学校の学習環境について

Q 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学習習慣や生活習慣についての見解や今後の方策は。

A 中川教育長

学校においては基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努め、分かりやすい授業づくりや宿題の質の向上など子どもたちが集中して学べるように学習環境を整え、主体的・対話的で深い学びの授業へつなげていく。家庭では、子どもの生活習慣の見直し、家庭学習の習慣化、地域においては教育活動への支援などにより、学校と連携した活動へとつなげていく。

Q 小学校の家庭学習の時間が全国平均と比べてかなり少ないが、過去の傾向は。またこの問題に対する過去の方策、対処は。

A 中川教育長

家庭学習の時間が少ない傾向はここ数年の調査結果でもみられる。

これまでも豊頃町教育研究所で作成した「豊頃町家庭学習の手引き」を各家庭に配布し、学習内容のポイントや学習環境を整えるための生活習慣等について周知を行ってきたところである。

Q タブレットの全児童への配布により教育ICT環境は整備されているが、家庭学習への活用は。

A 中川教育長

小学校高学年はほぼ毎日持ち帰り、宿題や課題に取り組みほか、長期休業期間は全児童が持ち帰り、アプリによる復習や調べ学習を実践している。中学校生徒は毎日持ち帰り、電子ドリルを活用した反復学習のほか、授業中に完成できなかった資料の作成、長期休業期間中の教員との連絡手段等にも活用されている。

Q 学習時間の確保や学力向上に向けた、学校や家庭以外での取り組みについての今後の考えは。

A 中川教育長

学力向上については、学校内での学習活動が基本になると考えているので、そのための体制づくりやスクールバスまでの時間を使ったり学習活動、授業改善等を進めていく。

中学校部活動の地域移行化について

Q 中学校の部活動地域移行化について、現在の我が町の状況と今後の計画は。

A 中川教育長

昨年度の町総合教育会議において、部活動の地域移行を議題とし、本町の現状や今後の方向性について町長と教育委員で情報共有し意見交換を行ってきた。今後については「豊頃町部活動地域移行検討協議会（以下、協議会）」を立ち上げ、その中で、調査研究・協議を進めていく。

Q 中学校の部活動の種類や生徒の加入状況、教員の部活動への参画・負担状況は。

A 中川教育長

部活動に加入している生徒の割合は約74%で、種類は運動部7種目、文化部1種目である。教員の参画状況については、全

教員がいずれかの部活動の顧問を担当している。休日も含めた部活動の指導や競技経験のない教員による部活動の指導などについて、学校の管理職を含め協議のうえ、部活動の担当をお願いしている。

Q 地域移行化に際し、過疎地域

では指導者の人材不足や他町との合同部活動による送迎等の負担があるが、これらの問題への対処は。

A 中川教育長

民間業者への委託や、指導を希望する教職員の兼職等についても検討が必要と考えている。保護者の負担についても、現状合同チームの場合の練習送迎、大会や練習試合への送迎については保護者が行っており、本町においては大きく変わるものではないと考えているが、これらについても協議会の中で検討していく。

Q 部活動の地域移行化により家計支出が増加し、部活動参加不参加がこれまで以上に家庭の経済力により影響されることが懸念されているが、参加機会の公平性をどのように提供していくのか。

A 中川教育長

家庭の経済的事情によつて部活動に参加する機会が奪われることはあってはならないと考えている。あらゆる生徒が参加しやすい環境づくりのため、協議会においても協議を進め、総合教育会議等で町長とも課題を共有し適切な措置を講じていく。

豊頃町まちなか活性化拠点施設の
宿泊施設における今後の方針について

Q 豊頃町まちなか活性化拠点施設の宿泊施設について、今後の我が町の観光政策上どのよう
に活用を考えているか。

A 按田町長

コロナ禍が終息に向かう中で、宿泊施設の需要も非常に高まっており、町内及び十勝管内の観光入込等の状況を踏まえ、宿泊施設のPRも積極的にやらなければと思っ
ている。

なお、今は通過型観光が本町のメインの形になっているが、今後はまちなか活性化拠点施設も含めた町内の宿泊施設、民泊事業者等と連携を取り、町内関係団体とも協議の場を設け、滞在型観光が可能になるように検討を進めていく。

Q コロナ禍における過去2年間の宿泊実績は。

A 按田町長

令和4年度については9団体58人、個人利用が24人の合計82人、令和3年度については団体利用がなく、個人利用が40人となっている。

意見書

- ① 2024年度地方財政の充実・強化に関する意見書
- ② 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ③ 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

①、②は総務文教常任委員会、③は産業厚生常任委員会にて審議した意見書案が、総務文教常任委員会の大谷友則委員長、産業厚生常任委員会の岩井明委員長から提案説明され、いずれも原案どおり可決し、関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する大谷友則委員長(左)と岩井明委員長(右)

議会日誌

14日	12日	7日	4日	31日	24日	17日	3日	1日	19日	4日	28日	15日	12日	8日	5日
第3回定例会(3日目) (決算審査) (一般質問、意見書案 ほか) 議会広報特別委員会	第3回定例会(2日目) (決算審査)	第3回定例会(1日目) (条例改正、補正予算等) 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会	議会運営委員会	十勝町村議会議長会議長研修会 中札内村	産業厚生常任委員会 所管事務調査(作況調査)	議会広報研修会 札幌市	相馬市議会運営委員会視察 (来町)	議員全員協議会	新任議員研修会 札幌市	北海道町村議会議長会議長主催 議員研修会 札幌市ほか	議会広報特別委員会 定期総会 札幌市	北海道町村議会議長会議 議会広報特別委員会 (一般質問ほか)	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第2回定例会(2日目)	(補正予算、その他) 議員全員協議会	議会運営委員会 第2回定例会(1日目)

◎今後の予定